

科目名	セーフティマネジメント Safety Management		担当教員 (研究室番号)	宮崎 つた子 (207) 清水 真由美 (407) 日比野 直子 (406)		教員への連絡方法 (メールアドレス)						
履修年次	4年次 後期	科目 区分	総合科目		選択 区分	必修	単位数 (時間)	1(15)	授業 形態	講義	科目等 履修生	否
科目目的	医療安全対策に関わる看護の役割と医療機関や地域での看護支援活動の実際を学習する。また、危機的な状況が人々の暮らしや生活に影響を及ぼすことを理解し、災害時等における看護職の役割と看護支援活動について探求し、地域社会で貢献できる能力を養う。											
ディプロマ・ポリシー (DP)	主要なDP	F 地域社会に暮らす人々の健康課題の解決に向けて、対象に応じた看護を提供できる。(技能・表現)										
	関連するDP	A 人々の生命・尊厳・権利を尊重し、看護専門職者としての倫理観に基づいて行動することができる。(姿勢・態度) D 様々な職種との連携において、看護専門職者としての役割を理解し、多職種による協働活動に参加できる。(技能・表現)										
到達目標	1. 医療安全に関わる基礎的知識を理解し、その対策が説明できる。 2. 医療安全対策に関わる危機管理・看護管理・感染管理について説明できる。 3. 災害等の危機的な状況における看護が果たす役割と看護支援活動が説明できる。 4. 世界で期待される看護活動を考え、説明できる。											
成績評価方法 (基準)	レポート20%、最終試験80% * 授業の3分の2以上の出席をもって評価の対象とする。											
再試験の有無と 基準等	当初評価で合格点に満たない場合には、追加レポートにより再評価を行う。 追加レポートは60点満点とし、当初評価の点数は加味しない。											
教科書	なし。											
参考書等	必要時、紹介する。											
学生の主体性を伸ばす ための教育方法と学生 への期待	医療現場や地域で生活する人々に安全で安心な環境を提供するために、看護職の役割は何か、事故防止や感染予防、災害時の対応や対策等について、これらの事象を自分事として捉え、考えるきっかけになることを望みます。											
備考												
回	学習項目				学習内容				主担当 教員	授業 方法		
1回	セーフティマネジメントの基礎知識				オリエンテーション 医療安全対策等に係わる法律・制度を学ぶ。				宮崎	講義		
2回	医療・福祉施設におけるセーフティマネジメント①				医療・福祉施設における医療安全管理体制と看護専門職の役割について学ぶ。				学外協力 者	講義		
3回	医療・福祉施設におけるセーフティマネジメント②				医療・福祉施設や避難所等における感染管理体制や感染経路別の予防対策の実際について学ぶ。				学外協力 者	講義		
4回	地域におけるセーフティマネジメントの実際①				避難所・災害復興住宅での看護活動について学ぶ。				日比野	講義		
5回	地域におけるセーフティマネジメントの実際②				在宅生活における医療安全対策と必要な看護支援を学ぶ。				日比野	講義		
6回	地域におけるセーフティマネジメントの実際③				健康危機管理の基本、災害に対応した保健活動、災害予防と事前対策、発災直後から復興対策期の保健活動について学ぶ。				清水	講義		
7回	国際社会におけるセーフティマネジメント				国際救援活動と看護職の役割について学ぶ。				清水	講義		
8回	特別な状況にある人へのセーフティマネジメント				特別な状況にある人に安全で安心な環境を提供するための看護支援活動を学ぶ。				宮崎	講義		

学 習 課 題

事前課題（第1回～第8回）：各回の学習内容に関する文献や参考図書を調べておくこと。
 事後課題（第1回～第8回）：各回の学習内容に関する文献や参考図書を読んで学習内容を深めておくこと。
 レポート課題：指定されたテーマについてレポートにまとめて提出する。テーマ・提出方法等は授業時間内で説明する。【配点20%】

実務経験を活かした教育の取組

第2回、第3回の学外協力者は、実際に防災活動や組織管理に従事していた看護職であり、その経験を活かして本科目の講義を行う。本学の担当教員は、看護職の実務経験者として、看護の実践および教育・経験活動を行っており、その経験を通して本科目の講義を行う。